

第7回 都心活性化プランに関する懇談会 議事要旨

1 懇談会名称

都心活性化プランに関する懇談会

2 開催日時

平成29年3月29日（水）午前11時～午前12時

3 開催場所

広島市総合福祉センター（BIG FRONT ひろしま）5階 大会議室

4 出席者

(1) 委員（11名中9名出席（うち代理出席1名））

塚本座長、伊藤委員、熊野委員、佐藤委員、下村委員（代理として、広島市中央部商店街振興組合連合会 若狭 専務理事が出席）、谷村委員、平尾委員、山田委員、吉田委員
（欠席委員：野原委員、藤波委員）

(2) 事務局

広島県：地域振興部長、都市圏魅力づくり推進課長、担当職員

広島市：都市整備局長、都市機能調整部長、都市機能調整担当課長、担当職員

5 議事

ひろしま都心活性化プランの策定について

6 公開・非公開の別

公開

7 傍聴人の人数

一般傍聴者1名 報道関係者2社

8 懇談会資料名

次第

資料1 ひろしま都心活性化プラン

資料2 ひろしま都心活性化プラン（概要版）

参考資料 「ひろしま都心活性化プラン（素案）」の県民・市民意見募集の結果について

9 各出席者の発言の要旨

議事

ひろしま都心活性化プランの策定について

【塚本座長】

- ・ 皆さんお早うございます。年度末のお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。
- ・ 第7回ということで、今回をもって最後の懇談会となる。今まで皆さまからの様々な御意見を伺いながら、「ひろしま都心活性化プラン」が出来上がった。
- ・ 今日は改めて、その内容について事務局から簡単に説明していただき、それに対する御意見や、ひろしま都心活性化プランの実現に向けたことなど、皆さまから様々な御意見を願います。
- ・ それでは事務局から資料についての説明をお願いします。

【事務局説明】

— 資料1、資料2、参考資料に沿って説明 —

【塚本座長】

- ・ ありがとうございます。
- ・ 長い時間をかけて、議論してきたことが、最終的には、この「ひろしま都心活性化プラン」の本編（資料1）と概要版（資料2）という形で、まとめられている。
- ・ 今回は最後の懇談会になるが、今事務局からもお話があったように、これから大きな修正をすることはできないと思うが、この計画を実施に結びつけるために、皆さまから、今後は是非このようなことをやっていったらいいのではないかというアドバイスなど、そうした御意見をお伺いし、この計画のすべり出しという形になればいいと思う。
- ・ これまでの経過も踏まえ御意見をお伺いしたい。

【平尾委員】

- ・ これまで6回の懇談会の中で言いたいことを言わせていただいて、無理なことも申し上げたなと思いつつも、素敵なプランに仕上げてください、うれしく思う。
- ・ その上で、今後、このプランについて、主役である市民の方たちが触れる機会をどのように作っていくのかをお伺いしたい。
- ・ このプランは、報告書や冊子のような形として市民等に配布されるものになるのか、もしくは、あくまで市民というよりは予算策定の参考となる庁内の内部資料となるのか。
- ・ また、もし市民がこのプランに触れていくのであれば、ワークショップのようなリアルな場を設けていくのか。
- ・ このプランを踏まえ、自分たちが何をしたいかということ、もう少しエリアを区切り、

地域単位でやれば良いと思う。

- ・ 以上、このプランの活用方法をお伺いする。

【事務局】

- ・ このプランの本編や概要版は、冊子形式で印刷する。部数の制限もあるので限られてはくるが、区役所や公共施設等に配布させていただく予定である。
- ・ プランの電子データについては、ホームページで公開し、広く公表させていただければと思っている。
- ・ また、例えばワークショップのようなところで配布できるかどうかであるが、現時点で具体的にどのようなワークショップを実施するというところまでの計画は立てられていないので、区役所等が実施するまちづくり関係のワークショップ等で配布するなど、そうした働きかけができればと思う。

【下村委員（代理 若狭専務理事）】

- ・ これだけのことをまとめられ、検討された委員の皆さまや事務局の皆さまに敬意を示させていただきたい。御苦勞様でございます。
- ・ このプランを見させていただいて、大変よくできているなど思うのだが、私自身の関わっている都心の魅力づくりという部分において、できれば付け加えてほしいといった思いもある。
- ・ 36ページの公共空間を活用したにぎわいづくりとしては、旧市民球場跡地についても、今からは是非その活用をしていただきたい。
- ・ 平和大通りのにぎわいづくりについても、現在、委員会が立ち上がっているので今から進めていけると思うし、袋町公園のオープンカフェの社会実験も既に動き出している。
- ・ 実は、私たちが都心で、実際、魅力づくりの催し等を行うときに、一番よく利用するのは、アリスガーデン（西新天地公共広場）である。最近では、私たちのイベント以外にも、一般の方もイベントで活用しており、土日の予約はほとんど埋まっている。
- ・ アリスガーデンは、完成から20年以上経過し、非常に老朽化している。
- ・ 使い勝手も、元からあまり良くないが、夏はタイルで暑い、冬は寒いといった非常に厳しい環境の中でイベントをやっている。
- ・ 今、有志でどうにか、アリスガーデンをリニューアルして、こんなふうにしたらいいのではないかと、委員会を作ろうと思っている。
- ・ 行政もアリスガーデンのリニューアルに関して、できれば御協力いただければということで、今後の事業計画等の中では、少しでも書いていただけるとうれしい。
- ・ また、中央通りを挟んだ東側には東新天地公共広場がある。ここは、現在、お祭りのとき以外は、ほとんど活用されていないが、ここも夜の広場として、今後、利活用されていけば面白いのではないかと思う。
- ・ 袋町公園とアリスガーデンと東新天地公共広場、この3カ所の都心のポケットパーク的な部分をうまく活用すると、また新しいにぎわいづくりができるのではないかと考えている。
- ・ また、うらぶくろに関わる方々が中心に取り組まれているが、道路等の公共空間をうまく活用する方策についても動きつつあるので、これらについても是非念頭に入れておいていただ

きたい。

- もう一つ、都心活性化に向けて、エリアマネジメントという手法が注目されていて、駅周辺では、事務局が立ち上がるというところだと思うが、この都心活性化プランの中にも、「紙屋町・八丁堀地区をはじめ、他の地区においても・・・」という文章が書かれてある。
- 我々は、以前から下村委員とエリアマネジメントの取組について話をしており、先日、博多に視察に行ってきた。
- 大々的にエリアマネジメント活動をされているが、西日本鉄道（株）が1億2,000万円、JR九州が1億円、行政も2,000万円ずつ出資して、市のそれぞれの区の中にエリアマネジメント担当の職員がいらっしやると伺った。
- 紙屋町・八丁堀地区についても、今から何とかしてエリアマネジメント組織を立ち上げたいと思っているが、是非このようなことも御考慮いただいた上で、今後のプランの取組の中に反映させていただければと思う。

【塚本座長】

- ありがとうございます。
- 非常に具体的でなおかつ前向きな話である。これに対して何か御意見があればお願いします。

【事務局】

- 今後の具体的な取組に関しては、広島市の都市機能調整部や庁内の関係部署と連携させていただければと思う。
- プランの60ページに社会情勢の変化等への対応ということで、PDCAサイクルを記載しているが、15年間でこの計画に記載していることだけをやっていくということではないので、今後の状況等を見ながら、具体的になってくれば、プランを見直し、こうした御提案についてもプランの中に反映していこうと考えている。
- エリアマネジメントについても、今、駅周辺で一生懸命頑張っておられて、紙屋町・八丁堀周辺も何とかそうした動きができないかと考えているので、またいろいろと御相談させていただければと思う。

【伊藤委員】

- 取りまとめをしていただきありがとうございます。
- 県民・市民の方の意見公募の結果の資料も見させていただいたが、本当にすごく良い意見、鋭い指摘も多くあり、是非こうした御意見等を参考にさせていただき、今後の施策の実施に反映してもらえたらと感じた。
- 私からの思いとしては、今回、都心のことを考えるに当たって、前回の素案からの修正で、観光入り込み客数のデータを記載してもらったが、一方で、人の動きということは、実は分かっているようで実態がよく分かっていないところがある。
- 最近では公共交通でも、ICカードが導入され、乗客に関する情報・データも大分把握できるようになってきているが、分析が全然できていない。是非行政からも積極的にそうしたデータの活用や、パーソントリップ調査（交通実態調査）などの人の動きをきちんと捉えるこ

とができる調査をやっていただきたい。

- ・ 都心だけの話でもないが、都心の動きというくくりとして、きちんと人の動きを把握するといった視点も持っていただいて、そうしたことも踏まえた上で、歩行者ネットワークに関する検討や、まちのにぎわいづくりといった施策に是非反映していただきたい。

【熊野委員】

- ・ 私も途中の第5回目の懇談会からの出席でしたが、このプランは皆さんがよく議論された上で策定されたものであり、広島らしさ、広島の拠点性についてバランスのとれた良いプランとの印象を持っている。
- ・ これからこのプランをどう実行に移すかということが、一番皆さんが課題として認識されていることだろうと思うが、「ひろしま都心活性化プラン」に沿ったまちづくり、このプランを具体化させることが本当に大切である。
- ・ 抽象的な話となるが、まちづくりが全体最適になるように、都心活性化プランが上にあって、下にそれぞれ個別のプロジェクトあるとすると、それをつなぎ合わせるもの、中間に位置するものが必要と考える。
- ・ 広島市内でも建て替え等が起こっているが、それぞれに建て替えを進めていくと、結果としてまちづくりがいいようにできない場合もある。
- ・ 東京のまちづくりなどを見ていると、高さを一律に合わせるとか、特に日本橋などは広島と同じ感じだと思うが、建物を同じような高さにそろえていくようなまちづくりをしているという話をいただいた。
- ・ 個別最適でなく、全体最適になるようなまちづくりが必要だと思うし、それを取り仕切るマネジメントも必要と思う。
- ・ もう一つは、プランの中にも出ているが、花と緑の美しいまちづくりということで、広島のまちは、決してきれいとは言えないと感じる。
- ・ それはなぜかという、会社の前の公共空間については、勝手に何もできない。いろんな規制があると思うが、そういった規制も、できれば緩和していただいて、きれいなまちづくりができる仕組みをやっていただきたいと思う。
- ・ また、そうした議論をする際も、民間の声も取り入れていただきたい。是非とも民間の声を交えていくことをこれからも引き続きお願いしたい。

【事務局】

- ・ このプランを策定した上で、先ほど、どのようにPRをしていくのかといった話もあったが、先日、商工会議所の委員会や、日本建築学会中国支部の都市計画委員会においてプランの素案を説明させていただく機会があったが、プランのPRも含め、皆さんもこうやったらいいのではないかと提案がいろいろとあると思う。
- ・ このプランを見て、自分のまちを、都心をどうしていきたいかというのを考えていただく機会にさせていただいて、市民の方と企業の方と行政と一緒に取り組んでいきたいと思う。
- ・ できることからなるかもしれないが、そうした取組を進めていきたいと思っている。

【塚本座長】

- ・ ありがとうございます。
- ・ 建築学会中国支部の都市計画委員会では、私から講演会の講師をお願いし、都市計画の専門家にお話をさせていただいた。このような機会をもっとやっていったらいいなと思う。

【佐藤委員】

- ・ お疲れさまでした。
- ・ すごい分量をまとめあげられて、すごいなと思った。今回、私自身もすごく勉強になった。
- ・ 先ほど平尾委員が言われたように、どうやってこれを周りの人に伝えていくのか。
- ・ 特に今からのお母さんが子どもたちに伝えていくべきときに、どのようにしていくのかということが私も気になっていた。
- ・ 是非コンセプトの軸となる「平和と文化の架け橋」になるためのプランだということの勉強会をどんどんやってほしい。それがあっての計画だと思う。
- ・ そこを忘れていきがちになるので、どのまちも同じまちにならないように、「平和と文化、広島文化って、どういうもの？」とか、「平和とは？」ということも、次世代に伝えていきたいと思うので、そうした広め方、ワークショップなどをしていただければと思う。
- ・ あとは、行程として、本当にこういうことをやっているのだということが、分かりやすく市民に伝えられるように、五感と心に染み込むような実行を見える化しながらやっていただければと思う。
- ・ 主婦の人たちも、子どもたちも、「広島はこういうことをやっているんだ」「川がきれいだよ」とか、と周りの人にワンフレーズでと伝えられるように、分かりやすく市民に伝えていただければと思う。
- ・ また、大きなイベントばかりではなく、それが毎日のように頻繁に、「公園がリビングのように遊べるよ」などと、ちょっとずつ出てきたこのフレーズを市民全員が、県民全員が伝えられるようになっていけば、他の都市とは違う見せ方ができるかなと思っている。
- ・ 是非ともコンセプト、軸をぶらさずに進めていただきたいし、私たちも協力したいと思う。

【塚本座長】

- ・ ありがとうございます。非常に含蓄のある御意見で、一番行政としては難しいことであると思うが、是非これをやっていただきたい。

【下村委員（代理 若狭専務理事）】

- ・ 熊野委員から建て替えがあるという話があったが、今から相生通りを始め、多くのビルが老朽化し、一斉に建て替えが始まる。ビックバンと言われているが、広島銀行さんも、先日本店の建て替えを発表されている。
- ・ そうしたときに、例えば、「こういう方向で建て替えてください」、「こういうまちにしたい」、「ここはセットバックしてください」などといった何か指針があればいいと思う。
- ・ 私たちが一番気になるのは相生通りの歩道が狭いこと。都心にしては狭すぎる。もう少し広げたい。そうしたときに、ビルがセットバックしてくれたら、そこがうまく使えるみたいな

こともあると思うので、そういうことも是非やっていただきたい。

- 会社の前の道路もいじれないという話もあったが、実は、エリアマネジメント協議会が立ち上がって、そこでオーソライズされた組織であれば、今から道路も活用できるという特別措置法が国でできているので、そうしたことも踏まえながら、自分たちの手で、自分たちが利用する道路をうまく利活用することも可能であると思うので、そのような点についても御協議いただければと思う。

【谷村委員】

- 同じようなことになるが、こうした素晴らしいプランができたので、これをどう具体的に実現していくか、それを誰がどのように中心になってやっていくかが今から大事になってくると思う。
- ベースとしてはこれをみんなで共有しながら、そうは言いながら、記載されていないことは駄目といったことではなくて、柔軟にできる進め方をしていただきたい。
- 冊子で出したら固定してしまう一方で、ホームページで公開という話もあったので、こんな新しい動きが今、一部出てきましたとか、若狭さんたちが新しいことを始められたとか、そうしたことをホームページで関連情報として紹介するということは柔軟にできると思う。そうしたことも考えていただきたいと思う。
- 先ほど事務局から商工会議所の委員会で素案の説明をされたといった話があったが、商工会議所の中には、支店長会といった組織がある。広島は、支店支社が多いので、そうした組織を設けており、広島市さんとも懇談の機会も毎年持たせていただいている。
- 中に住んでいる我々だけの目ではない視点という意味で、そうした場所などで、御紹介していただいて、外から見たときの御意見を頂くような機会もあればと思っている。
- まちがきれいかどうかという話もあったが、非常に広島のまちはきれいだとおっしゃる方は多いので、そのいいところも生かしていくことも、やっていけたらと思う。

【山田委員】

- 立派なものができたという印象である。
- 関連する上位計画など他の計画に比べると、目標年次が非常に長いので、私としては非常に重要なのは検証の進め方ではないかと思っている。
- 最後に行程表が出ているが、実際にはより丁寧で具体的なロードマップに基づいた検証が求められてくるだろうと思っている。
- 検証のときに重要な視点として2つ挙げたい。
- 一点目は、このプランの中の3ページ、都心の役割に書いてあるが、そもそも広島都市圏が活性化することはどういう意味があるか、広島都市圏のみが1人勝ちするということではなく、結果的に都心が活性化することが広島広域都市圏にとってどのようなメリットがあるかが示されなくてはならない。
- 佐藤委員からも見える化の話があったが、広島県のなかで、都心の活性化がどういういい影響をもたらしているかが、見えるような、そういった検証をしていただきたいと思っている。
- 2点目は、これからの時代は人の育成だと思う。検証するときに民間、市民を巻き込んだ形

での検証の仕方をしていただきたい。これが結果的にはエリアマネジメントを担っていく人材育成につながっていくのではないかと思う。

【吉田委員】

- ・ 活性化プランの中身について意見はない。これを今後どう実行していくかが一番課題かなと思っている。
- ・ 国が管理する道路や河川、公共空間があるし、交付金など予算的な支援等もあるので、実行に当たっては、しっかり協力、支援していきたいと思う。
- ・ 道路が使いづらいという話もあったが、10年20年前に比べれば、制度も変えて運用もずいぶん柔軟になってきているのではないかと思うので、連携していきたいと思う。
- ・ 今日の資料の中でも、行政だけではなくて、市民の方、民間企業の方と一緒に連携・協働しながら進めていくといった記載もあるので、今後の取組については、行程表にも記載されているが「先導的な取組」をしっかりと取り組んでいくことで、周りに実感してもらうことで、市民の方、民間企業の方も参加しやすいと思う。
- ・ リーディングプロジェクトとしてしっかりと実行して欲しいと思う。

【竹中局長（代理 八谷地域振興部長）】

- ・ 広島市の宮原局長からも話があるかと思うが、一年半にわたり集中的に御議論いただき、このような形で取りまとめができたことは、事務局として大変感謝している。ありがとうございました。
- ・ これをいかに具体化していくかについて、御指摘を受けたところである。私どもの議会からもそうした指摘もあったので、今後、市と県がしっかり連携して、関係団体とも意見交換を行いながら、都心の目指す姿の共有や施策実施にかかる連携を図りたい。
- ・ プランの実現のための体制については、エリアマネジメントの組織構築も一つの手法であるが、広島市とともに検討していきたい。
- ・ 県としては、これにより、プランの実現を具体化していきたいと思っている。
- ・ 先ほど山田先生から御指摘があった広域的な波及効果に関して、この取組が県全体にどういった影響を及ぼすのかについては、県もこのプランの策定に関わった経緯として繰り返し申し上げたところである。
- ・ この都心のにぎわい、活力が広域的に波及して、県全体の発展に大きく影響することから、まちづくりの主体である広島市の取組に対し、広域自治体である県としても関わってきた。
- ・ 東京への一極集中が進み、人口が東京に集中する中において、広島の魅力、都心の活力、にぎわいがこの大きな歯止めになっていると考えている。広島県全体の人口の維持、確保の観点からも、非常に大きな意義があるのではないかと捉えている。
- ・ そうしたことで県としても戦略的な取組を市に協力しながら展開していきたい。
- ・ まずはこの度のお礼を申し上げたい。ありがとうございました。

【宮原局長】

- ・ 本日まで懇談会で御議論いただき、ようやくここまでたどり着くことができた。この場をお借りして改めてお礼申し上げたい。
- ・ 私ごとだが、私も40年前に広島市に住んでいたことがあり、その時の印象を覚えている。
- ・ 40年たって広島で2年間お世話になり、まちの姿も変わったなど思っているが、実感として、どうもいろんな動きが、駅周辺も含めてだが、次のフェーズに入りつつあるのではないかというのを、なんとなくであるが感じている。
- ・ 先ほどいくつか中身の話があったが、個別の施策については、必ずしも十分に書き切れていないところがあると思う。
- ・ 本日御指摘いただいた内容も含めて、そのきっかけになる内容を私自身も同じように感じているところもあり、そうした内容は、できる限り市の中の各局、特にまちづくり関係の部局に関わる内容については記載させていただくように努めたつもりである。
- ・ 次の具体的な話として、先程のエリアマネジメントの話もあったが、紙屋町・八丁堀地区の支援については当然行っていくが、プランの中にこうしたことが書いてあるということをきっかけとして、他の地区においても、こうしたことをしていきたい、もっと進めてほしいといった意見も頂ければと思う。
- ・ 懇談会は本日までとなるが、エリアマネジメントなどの個別の政策についても、これからも引き続き御支援いただければと思う。
- ・ プランを周知し、市民あるいは企業の皆さま方と共有していくことが、このプランの実効性を高めていくということに繋がっていくので、いくつかの会議の場などで私どもの事務局が外向いて説明するような機会等があれば、是非引き続きお願いしたいと思う。
- ・ ワールドカフェ等も含め、本当に市民の方を巻き込んだ形で、皆さま方の御意見を頂きまとめることができたことに改めてお礼申し上げる。
- ・ 実行に向けて頑張っていきたいと思うので、引き続き御支援をよろしくお願いしたい。ありがとうございました。

【塚本座長】

- ・ ありがとうございました。
- ・ 皆さんから御意見を伺ったが、これが最後である。言い残したことがないようであれば、予定された議事はこれで終了する。
- ・ 私の意見として、非常に難しい計画だった。通常の計画は、目標年次が10年から15年ということが一般的である中で、30年先ということで、計画がどういうものかということ自体から、非常に手探りだったと思う。
- ・ 個人的には、プランの中に、これから5年10年で取り組んでいく様々な具体的な事業の話が紛れ込んでいて、その部分が分かりにくくなっているような気もするが、先ほど佐藤委員が発言されたように、このプランに書いてあることは書いてあることだけれど、本来のコンセプトは何だったのか、それを思い出しながら、この計画を進めていくことが、市として、県として、今から非常に大事なことになるのではないかと思う。
- ・ これまでを思い返したときに頭に浮かんだのだが、今の広島市がこれだけきれいなまちにな

ったのは、戦後の間もない時代に河岸緑地を造るということを決めた方がいて、万難を排して、不法占拠を全部取り壊し、今の河岸緑地が造られた。そうした目に見えることを考えて、実際にやられた方がおられたということ。

- ・ 私の中で次に大事な転換点だと感じているのは、都市美への取組。
- ・ 約30年以上前に、広島市を美しい都市にしようという志を持った行政の担当者が市民を巻き込んで、都市美づくりに取り組んだ。
- ・ その結果、景観協議という民間の方には何の拘束力もないお願いというだけで、それ以降のマンションから給水塔がなくなったり、立体駐車場のP（パーキング）の文字がいつの間にか平和公園の周りから消えたとかいう成果を上げてこられた。
- ・ このような広島市の魅力づくりの取組の中で、今がどのようなフェーズなのかは分からないが、この会場のビル（ビッグフロントひろしま）のようにこれまで懸案であったプロジェクトが相次いで完成しており、重要なターニングポイントなのかもしれない。
- ・ そうすると、被爆100周年を迎える30年後に振り返った時に、今回のプランが広島の都心の活性化、魅力づくりにとって重要な方向性を示すものになっていることを期待したい。
- ・ 佐藤委員が発言されたように、このプランを基に、皆さんで、特に行政だけではなくて市民も含め、何をやっていくのかという明確な、分かりやすい目標なり、行動指針みたいなものを共有していくような形で広めていかなければいけない。
- ・ そうした意味では、今からが本当のスタートラインだなと、皆さんの御意見をお聞きして非常に感じた。
- ・ このプランがコンプライトされたものではないのは当然のことだが、これをどのように皆さんの意識の中にすり込んでいって、何かあるときに、これをやって良かったというものにしていただくのが、我々も含めて、今から大事なことではないかと思う。
- ・ そうしたことで、せっかくこの会議にこれだけの方が関わっていただいたので、このメンバーの方も何かあったときには、どうなっているか、意見を言ったり、進行具合をディスカッションしたりする場ができればと思う。
- ・ 何よりも、いろいろな形で、プランが皆さんの目に触れて、議論のきっかけになるような形にさせていただくことは、本当に最後に心から期待申し上げたいと思う。
- ・ なかなか座長という任を果たすことができなかつたと思って申し訳ないと思っているが、事務局の努力で立派なプランができたことに感謝を申し上げて、この会議の終わりにさせていただく。
- ・ ありがとうございます。事務局にお返りする。

【事務局】

- ・ ひろしま都心活性化プランについては、いろいろな場所でPRしていきたいと思う。
- ・ 4月には、「紙屋町・基町にぎわいづくり協議会」で説明させていただく。
- ・ 今後は、大学など、いろいろなところでPRしていきたいと思っているので、是非そのお声がけをしていただければ喜んで説明に伺いたい。よろしく願います。

【事務局】

- 本日はお忙しい中、御出席いただき、誠にありがとうございました。
- 塚本座長におかれましては懇談会の円滑な進行にご尽力いただきありがとうございました。
- 以上をもって、都心活性化プランに関する懇談会を閉会する。委員の皆さま、2年間ありがとうございました。